

御手洗辰雄 みだらき 政治評論家。明治二十九年（1896）十一月大分縣鶴

崎生れ、昭和五十年九月七日没（一八九一—一九七五）。筆名有田義雄、慶應

義塾大學中退。大正四年『大分新聞』記者、のち『報知新聞』社會部長、『東京毎夕新聞』編輯局長、『國民新聞』編輯局長などを歴任し、昭和

十四年京城日報社社長、次いで『東京新聞』主筆となる。十九年退社。

戰後は政治評論家として活動。

著書に『新聞太平記』（昭和二十七年十月十五日講談社）、『手の折

（つね）』（昭和二十七年二月）などがある。

